

地元の文化財を守るために…

◎国指定重要文化財善光寺薬師堂防火訓練

地元の子どもたちも消火訓練の参加



1月26日の文化財防火デーに合わせて、1月16日、国指定重要文化財である善光寺薬師堂（小松市）で、文化財防火訓練が行われました。訓練ではまず、鬼北消防署の武田小隊長が「火災を出さないことが大切。地元の人や消防団など身近な人に訓練に参加してほしい」と挨拶。昨年度設置した自動放水銃の訓練など、善光寺薬師堂に設置してあるさまざまな防火設備の点検が行われました。また、練習用の消火器を使って、地域の人たちや地元消防団の団員たちが実際に訓練に参加。防災に対する意識を向上させていました。

燃え上がる炎に無病息災を願う

◎愛治地区どんど焼き

代表者による火入れの様子



正月に飾っていたしめ飾りやお守りなどを燃やし、正月の神様を空に送るとされている「どんど焼き」。その煙にあたることで無病息災の願いが叶うとも言われ、毎年、年初めの時期に町内各地区で行われています。愛治地区では1月10日、毎年恒例のどんど焼きが行われ、愛治活性化集団「来夢」が用意した高さ約5メートルのやぐらに多くのしめ飾りや門松などが投げ込まれました。代表者たちが火入れを行うと、勢いよく燃え上がる真っ赤な炎。参加した人たちはその炎に手を合わせ、今年1年の無病息災を願いました。

熱心な学校教育活動が認められ…

◎平成27年度文部科学大臣優秀教職員表彰

優秀教員の表彰を受けた松本先生



1月18日、東京都のメルパルクホールで「平成27年度文部科学大臣優秀教職員表彰式」が開催されました。これは、教職員の資質向上のために、文部科学省が平成18年度から始めたもので、学校教育活動において顕著な成果を上げた教職員が表彰者として選ばれます。このたび、鬼北町立日吉中学校の松本智恵先生が、日頃熱心な教育活動に対する功績が認められ、本表彰を受賞されました。松本先生は「今回の受賞はお世話になった人や生徒たちのおかげ。これからもより一層頑張っていきたい」と、受賞の喜びを語っていました。

忘れてはいけない記憶を後世へ

◎～あれから70年～ 語り継ぐ戦争の記憶展

足を止め、展示品に見入る来場者



11月14日から1月17日までの間、鬼北町歴史民俗資料館で、企画展「～あれから70年～語り継ぐ戦争の記憶展」が行われました。会場には、町内外の方々から提供のあった戦時中の日用品、手紙や遺品などを多数展示。訪れた人たちは、その一つ一つをじっくりと眺めながら、当時の時代背景に思いを馳せていました。また、展示品を通してよみがえる当時の記憶を、お互いに語り合う戦争を経験した人たちの中には、思わず涙する人の姿も見られ、展示品に刻まれた人々の思いが、見る人の心を惹きつけていました。